

---

# 東風に吹かれて・・・

東中

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

東風に吹かれて・・・

### 【Nコード】

N9779H

### 【作者名】

東中

### 【あらすじ】

昭和30年、日本高度成長期の中一人の学生服を着た15の少年が自分が生きるために麻雀という道を選び色々な荒波に吞まれぬように自分を貫いていく物語である。

## 孤独の闘牌（前書き）

初めまして、自分は小説を書くのは初めてなので読みにくいかもしれませんががんばって書きますのでよろしくお願いします。

## 孤独の闘牌

1955年（昭和30年）6月18日午後6時

春の暖かさから夏の暑さへ変わりつつあるこの時期の夕暮れ、学ラ  
ン服の袖をまくり、ボタンの上二つを外し、髪はスポーツ刈りが少  
し伸びた少年がふらふらと歩いている。

普通の学生であれば家路を急ぐ時間帯であるが、彼は賑やかな繁華  
街の方を向き足を止め、上を見上げる……

『新宿歌舞伎町』

と書かれた看板があり、これでもかと活気強く光り輝いているのを少年は淋しそうに見つめている。

すると少年は再び歩き出し人混みを避けるように路地裏に吸い込まれていった。

すると路地を少し入った先のドアに『雀荘雲雀』と書いてあるドアを少年が開け、中へ入っていく・・・

中へはいると薄暗い部屋に雀卓が8台設置されているが既に全部の卓が埋まっており少年は溜め息をつきながらドアの近くにあるイスに座りズボンのポケットからマルボロの箱を取り出す。器用に口で取り出しマルボロに火をつける・・・

数分後、雀荘のマスターらしき人が近づいてき

「おい坊主、銭はあるのかい？」と問いかけてきた。

少年はコクリと頷き五百円札の束を見せる。

「よし、それじゃあ入ってくれ。」とマスターらしき人がメンバー

が崩れた卓に少年を招待した。

少年は壁を見ると『十八歳未満の賭博及び麻雀遊戯を禁ずる』と書いてある貼り紙が張ってあったが気にせずはその卓に座った。卓に座ると対家のサングラスが

「坊主、年はいくつだ？」

と聞かれ、少年は重たい口を開き

「・・・15」

とボソツと答えた。サングラスはふーんとした顔をして山を積み始める。すると次はリーマン風の男が

「坊主、名前は？」

と聞かれ少年は一瞬黙り込んだ

「坊や、聞いている？大丈夫？」と下家の女性に聞かれ、気がつき

「・・・東 中」

ヒガシチュウ？いや、これはアズマアタルと読むんだ。ちなみに少年（東 中）って言うのは自分のことである。するとリーマン風の男が

「へえゝ変わった名前だなハツハツ・・・東 中って麻雀の申し子みてえな名前だな！！」

とリーマン風の男が笑う。

俺はこの名前が大嫌いだ・・・なぜ嫌いか？それはまた後で話そう・・・こうして対局が始まり。

南4局

「ロン・・・親ツパネの18000・・・」

「ちっ、また坊主の勝ちかよ！！」とリーマン

「やってられねーよ！！畜生っ、」

男二人はそう言うと千円札を無造作に叩きつけ店を後にしていった。自分はまたマルボロに火をつけ卓の上に置かれた札束の山を先ほどの看板を見るような目で見ています。

「・・・また勝っちゃったよ・・・」

自分はいつも勝った後、この言葉を漏らしている・・・

雀荘を後にし家路に急ごうとしたとき突然、

「坊や、あなた強いわね、惚れてしまっぐらいあなたの引きは最高よ。」誰かと思いい後ろを振り返ってみるとそこにはさっきまで一緒の卓で打っていた女性であった。

俺は

「・・・何だい？」

と問い掛け、またマルポロに火をつけた。

すると女性が

「坊やがこんなの吸っちゃいけないでしょ、もうっいけない子ね」  
と言い自分の口からタバコを取り上げた。

「・・・ちっ！」

と舌打ちし、帰ろうと女性の隣を横切ろうとしたとき突然、

「待って、私もついて行って良い？」

と言い俺の腕に手を絡ませてきた。

一瞬ドキッとしたが俺は女性の腕を振り払い無言でその場から去ろうとしたとき、女性が

「じゃあ、これ・・・渡しとくわ！」

と言い、俺に一枚の紙切れを渡し女性は、その場を足早に去っていた。

俺はタバコに火をつけ眠らない町を後にした・・・

## 孤独の闘牌（後書き）

記念すべき第一話は全くと云っていいほど対局内容が書いてないんですが、次回から書けるところは詳しく書いていきたいと思いたいですので宜しくお願いします。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9779h/>

---

東風に吹かれて・・・

2010年10月9日03時19分発行